

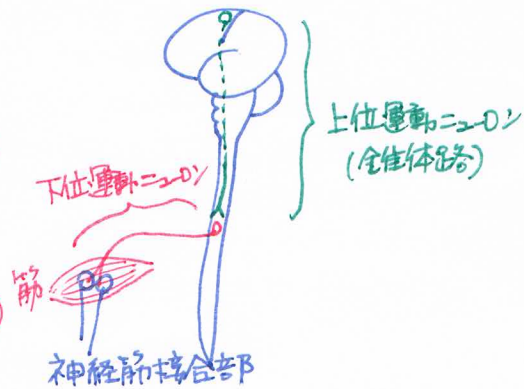
神経内科：運動ニューロン疾患

43-086 末梢神経麻痺の症候で正しいのはどれか。

2つ選べ。

1. 痙縮 上位運動ニューロン障害
2. 筋萎縮 下位 " "
3. 病的反射 上位運動ニューロン障害
4. 不随意運動 錐体外系障害
5. 腱反射低下 下位運動ニューロン障害

*末梢神経障害では、
○下位運動ニューロン障害
○感覚障害
○自律神経障害
(循環障害、発汗障害等)
上位運動ニューロン障害では、こらかかる。



44-082 深部腱反射の亢進がみられるのはどれか。2つ選べ。

1. 重症筋無力症 神経筋接合部障害である。
2. 多発性硬化症
3. 筋萎縮性側索硬化症
4. 筋強直性ジストロフィー 筋の障害である。
5. Duchenne 型筋ジストロフィー 筋の障害である。

☛ 上位運動ニューロン障害
筋緊張↑、痙縮、
(折り返し現象)

腱反射↑
病的反射出現

45-P-083 痙縮が出現するのはどれか。

1. 多発筋炎 筋の障害である。
2. 多発性硬化症
3. 腕神経叢麻痺 末梢神経の障害である。
4. 急性灰白髄炎 (ポリオ) 前角細胞の障害であり、下位運動ニューロン障害である。
5. Guillain-Barré 症候群
末梢神経の障害である。

下位運動ニューロン障害
筋萎縮、筋力低下
腱反射↓
筋線維束性攣縮

錐体外系障害
バネキソシ 症状
不随意運動

45-P-90 神経筋接合部の障害が病態の中心である疾患はどれか。

1. ボツリヌス中毒症 ボツリヌス毒素により、神経筋接合部での
2. 筋萎縮性側索硬化症 脊髄の前角細胞、アセチルコリンの放出を妨げる。
3. 急性散在性脳脊髄炎 =ポリオ(前角細胞の障害)
4. Guillain-Barré 症候群 末梢神経の障害
5. Charcot-Marie-Tooth 病 "

46-P-095 上位運動ニューロンの障害でみられる症状はどれか。2つ選べ。

1. 振戦 大脳基底核や小脳の障害で見られる。
2. 痙縮
3. 腱反射消失 亢進
4. 筋線維束攣縮 →下位運動ニューロン障害で見られる。
5. 病的反射陽性

50-A-087 痙縮を生じにくい疾患はどれか。

1. 脳梗塞
2. 外傷性脳損傷
3. 中心性頸髄損傷
4. 胸椎黄色靭帯骨化症
5. 腰椎椎間板ヘルニア 神経根(末梢神経)の障害である。

上位運動ニューロンが障害される。